

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 実績及び事業効果一覧

No.	交付対象事業の名称 (※1)	所管課 (令和4年度)	予算措置 (国庫補助・地方単独)	予算区分	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業開始 年月日	事業完了 年月日 (※2)	総事業費 (A)	補助対象事業費 (B) = (C) + (D) + (E) + (F)				補助対象外経 費 (A) - (B)	実績 (アウトプット)	事業効果 (アウトカム)		
									国庫補助額 (C)	交付金充当経 費 (D)	起債額 (E)	その他 (F)					
1	子ども・子育て 支援交付金	青少年課	補	R2補正 (国)	<事業の概要> 感染症拡大防止のため、通所自粛を要請した放課後児童 クラブの入所者に対し、利用料の返金を行うもの。 ①感染拡大の防止を図るため、通所自粛を要請 ②放課後児童クラブの月額利用料等返金に係る経費 ③放課後児童クラブ運営事業者	R3.4.1	R4.1.12	4,452,000	4,452,000	1,484,000	1,484,000	0	1,484,000	0	【対象となった児童クラブ数】 71クラブ 【対象となった児童延べ人数】 1,578人	放課後児童クラブにおける新 型コロナウイルス感染症の 拡大防止を図ることができ た。	
2	子ども・子育て 支援交付金	青少年課	補	R2補正 (国)	<事業の概要> 感染症拡大防止のため、通所自粛を要請した放課後児童 クラブの入所者に対し、利用料の返金を行うもの。 ①感染拡大の防止を図るため、通所自粛を要請 ②放課後児童クラブの月額利用料等返金に係る経費 ③放課後児童クラブ運営事業者	R3.8.1	R4.5.13	34,679,333	34,679,333	11,559,000	11,561,333	0	11,559,000	0	【対象となった児童クラブ数】 71クラブ 【対象となった児童延べ人数】 9,281人	放課後児童クラブにおける新 型コロナウイルス感染症の 拡大防止を図ることができ た。	
3	休日・夜間発 熱患者診療 事業運営費 補助金	地域医療推進課	単	R3当初 (地)	<事業の概要> 発熱患者に対応する救急医療提供体制を整備するため、 休日・夜間急病診療所を運営する藤沢市医師会に対し人 件費相当の補助を行うもの。 ①発熱患者を対象とした救急医療提供体制確保及び感染 拡大防止 ②休日・夜間急病診療所を運営する法人への補助金 ③公益社団法人藤沢市医師会	R3.4.1	R4.3.31	28,919,200	28,919,200	0	28,919,200	0	0	0	休日・夜間発熱患者診療事 業取扱患者数 4,847人	新型コロナウイルス感染症 の流行下において、発熱患 者を対象とした救急医療提 供体制を確保することができ た。	
4	プレミアム付 商品券発行 事業補助金	産業労働課	単	R3補正 (地)	<事業の概要> プレミアム付商品券事業を実施する「ふじさわ元気回復デ ジタル商品券発行委員会」への補助金を交付するもの。 ①コロナ禍において長期低迷する市内経済の活性化 ②商品券事業実行委員会への補助金 ③商品券事業実行委員会	R3.9.17	R4.3.31	402,137,630	402,137,630	0	402,137,630	0	0	0	1セット6,000円分のデジタル 商品券を5,000円にて30万 セット発行 利用実績: 1,796,609,719円 (99.81%)	商品券事業を通じて消費を 喚起することで、市内経済を 下支えすることができた。	
5	教育課程推 進事業費	教育指導課	単	R3補正 (地)	<事業の概要> 中学校等修学旅行の延期に伴う取消料を負担するもの。 ①新型コロナウイルス感染症感染拡大のために延期とし た中学校修学旅行の取消料を旅行会社に支払い、保護 者の負担軽減を図るもの。 ②中学校修学旅行取消料 ③市立中学校保護者	R3.9.16	R3.9.29	21,480,686	21,480,686	0	21,480,686	0	0	0	0	修学旅行取消料について生 じた21,480,686円を市が負担 することで、保護者の費用負 担軽減を図った。	全国的に感染が拡大してい たことから、安全に考慮して 実施を見送ったことで、感染 拡大防止に寄与した。
6	学校保健特 別対策事業 費補助金	教育指導課	補	R2補正 (国)	<事業の概要> 特別支援学校におけるスクールバスの乗車率が高いこと から、その状況を解消するための増便。 ①特別支援学校スクールバス感染症対策拡充(バス台数 増便) ②運行バス台数増便費用 ③市立特別支援学校児童生徒	R3.4.1	R4.3.31	9,709,807	9,709,737	4,854,000	4,855,737	0	0	70	0	スクールバスの乗車率を平 均79.4%から平均62.5%まで 低下させ、密状況を解消し た。	乗車率を下げることで、児童 生徒同士の間隔をあけること ができ、特別支援学校の児 童生徒の感染拡大リスクを 低減させた。
7	新型コロナウ イルス感染症 自宅療養者 等支援事業 費	地域共生社会推 進室	単	R3補正 (地)	<事業の概要> 新型コロナウイルス感染症による自宅療養者等への食料 等の支援事業。 ①新型コロナウイルス感染症による自宅療養者等が安心 して自宅療養生活を送るためのセーフティネットの構築 ②藤沢市社会福祉協議会への負担金 ③新型コロナウイルス感染症自宅療養者及び同居親族等 (藤沢市社会福祉協議会に食料等の調達に必要な費用の 一部を負担)	R3.9.27	R4.3.31	2,554,411	2,554,411	0	2,554,411	0	0	0	0	【負担金補助及び交付金】 支援者数等 ・世帯数360世帯 ・自宅療養者数588人 ・同居家族等 542人 ・日用品18世帯(食料品を支 援した360世帯のうち日用品 の支援も行った)	新型コロナウイルス感染症に よる自宅療養者で、さまざま な事情により自身では食料 等の生活に必要な物資を確 保できない場合に、関係機関 と協働し緊急的な支援を実 施し、市民が安心して自宅療 養生活を送るためのセーフ ティネットの構築に寄与した。

No.	交付対象事業の名称 (※1)	所管課 (令和4年度)	予算措置 (国庫補助・地方単独)	予算区分	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業開始 年月日	事業完了 年月日 (※2)	総事業費 (A)	補助対象事業費 (B) = (C) + (D) + (E) + (F)				補助対象外経費 (A) - (B)	実績 (アウトプット)	事業効果 (アウトカム)
									国庫補助額 (C)	交付金充当経費 (D)	起債額 (E)	その他 (F)			
8	中小企業事業継続支援金	産業労働課	単	R3補正(地)	<事業の概要> 新型コロナウイルス感染症の影響を受け低迷している市内中小企業者のうち、国庫の支援制度の対象外となる事業者に対し支援金を交付するもの。 ①緊急事態措置やまん延防止措置に伴い、飲食店の休業・時短営業や外出自粛などの影響を受けた事業者に対する支援 ②売上が2割以上減少した事業者に支援金を交付 ③市内に事業所を有する中小事業者又は個人事業者	R3.10.1	R4.3.31	211,461,997	211,461,997	0	211,461,997	0	0	0	中小企業者に305件1億2,669万1千円の交付、個人事業者に299件6,254万9千円の交付を行った。 既存の経済対策では支援が行き届かない事業者に対して支援を行うため、市内に事業所を有し、時短営業の対象外で、かつ売上が減少した中小企業者又は個人事業者を対象に、支援金の交付を行い、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者の支援に寄与することができた。
9	店舗・事業所等リニューアル補助金(事業者)	産業労働課	単	R3当初(地)	<事業の概要> 新型コロナウイルスの影響を受けている市内施工業者や、新しい生活様式等に取り組む市内事業者を支援するため、市内施工業者に発注して、店舗・事業所のリニューアル工事を市内事業者による工事費用の一部を助成するもの。 ①地域経済活性化及び新しい生活様式導入支援策 ②リニューアル工事を行う事業者への補助金 ③店舗・事業所のリニューアル工事を行う事業者	R3.6.1	R4.3.25	9,100,000	9,100,000	0	9,100,000	0	0	0	店舗・事業所100件の募集に対し、138件の申込みがあり、100件の交付決定、91件(10万/1件)の支払いをした。 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市内施工業者の受発注の増や利用者の感染対策への支援等を通じて、市内経済の活性化を図ることができた。
10	特別支援教育運営費	教育指導課	単	R3補正(地)	<事業の概要> 学校運営における新型コロナウイルス感染拡大防止のための補助業務を担う介助員を派遣するもの。 ①新型コロナウイルス感染症感染拡大防止にかかる取り組みを行うことは学校運営上必要不可欠であり、当該業務を補助する介助員を派遣するもの。 ②介助員謝礼及び宿泊行事介助員派遣負担金 ③市立小・中・特別支援学校55校	R4.1.1	R4.3.31	15,324,302	15,324,302	0	15,324,302	0	0	0	55校中55校が新型コロナウイルス感染拡大防止のための介助員を活用した。 学校内の三密を解消するための見守り業務及び消毒作業を行い、感染拡大リスクを低減させた。
11	感染症対策事業費	保健予防課	単	R3補正(地)	<事業の概要> 年末年始に発熱患者の受け入れを行う県内医療機関及び薬局に対して、神奈川県が支給する協力金について、市内医療機関及び薬局の開業状況に応じた協力金相当分の負担を行うもの。 ①開所する医療機関及び薬局が少ない傾向がある年末年始に、新型コロナウイルス感染症や季節性インフルエンザウイルスの流行に備えた医療体制を確保する。 ②負担金 ③年末年始に開所する医療機関及び薬局	R3.12.28	R4.3.31	13,330,000	13,330,000	0	13,330,000	0	0	0	【開所した医療機関及び薬局の数】 12/29 医療機関42、薬局76 12/30 医療機関27、薬局42 12/31 医療機関20、薬局18 1/1 医療機関11、薬局9 1/2 医療機関16、薬局8 1/3 医療機関18、薬局8 開所する医療機関及び薬局が少ない傾向がある年末年始に、新型コロナウイルス感染症が疑われる発熱等の症状のある方が受診するための医療体制の確保の一助となった。
12	休日・夜間急病診療所運営費等補助金	地域医療推進課	単	R3補正(地)	<事業の概要> 新型コロナウイルス感染症の影響下において、市内の一次救急医療体制確保のため、藤沢市医師会が実施する休日・夜間急病診療所運営事業に係る補助金を増額するもの。 ①新型コロナウイルス感染症により受診控え等の影響が生じている休日・夜間急病診療所の運営を支援し、一次救急医療体制を確保する。 ②休日・夜間急病診療所を運営する法人への補助金 ③公益社団法人藤沢市医師会	R3.4.1	R4.3.31	11,000,000	11,000,000	0	11,000,000	0	0	0	休日・夜間急病診療所運営事業取扱患者数 6,585人 新型コロナウイルス感染症により受診控え等の影響が生じている休日・夜間急病診療所の運営を支援し、市内の一次救急医療体制を確保することができた。
13	テレワーク等導入支援事業費	産業労働課	単	R3補正(地)	<事業の概要> 新型コロナウイルス感染症に関する対策のため、在勤勤務等のテレワークの導入に取り組む市内の中小企業者等に対し、その環境整備に係る経費を補助するもの。 ①テレワークを推進して感染症の拡大防止とポストコロナを見据えた新しい働き方に取り組む事業者に対する支援 ②中小企業・個人事業主への補助金 ③テレワークを導入する藤沢市内に事業所を有する中小企業・個人事業主	R4.4.11	R5.3.8	5,004,000	5,004,000	0	5,004,000	0	0	0	中小企業17社にテレワーク等導入支援事業費として、補助金(5,004,000円)を支給した。 テレワークの推進により、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に寄与した。また、子育てや介護との両立等の多様な働き方の実現にも寄与した。

No.	交付対象事業の名称 (※1)	所管課 (令和4年度)	予算措置 (国庫補助・ 地方単独)	予算区分	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業開始 年月日	事業完了 年月日 (※2)	総事業費 (A)	補助対象事業費 (B) = (C) + (D) + (E) + (F)				補助対象外経 費 (A) - (B)	実績 (アウトプット)	事業効果 (アウトカム)	
									国庫補助額 (C)	交付金充当経 費 (D)	起債額 (E)	その他 (F)				
14	公立学校情報機器整備費補助金	教育総務課	補	R3補正(国)	<事業の概要> 学校におけるICT周辺機器や指導者用端末などの追加購入を行うもの。 ①GIGAスクール構想の実現に向けた学校ICT環境の整備及び学校ICT機器活用の促進をするとともに、感染症対策のための三密の回避やコロナ禍における児童生徒の学習保障を行う。 ②ICT周辺機器・指導者用端末等整備 ③市立小・中・特別支援学校55校	R4.4.1	R4.9.27	23,646,975	23,646,975	11,822,000	11,824,975	0	0	0	指導者用chromebook231台、指導者用iPad27台、普通教室用プロジェクターおよびマグネットスクリーン各81台の整備	ICT周辺機器および指導者用端末の整備によるICT機器の活用促進により、平常時だけでなく学校の臨時休業等の緊急時や、やむを得ず登校できない児童生徒においてもICT機器の活用が図られ、コロナ禍においても子どもたちの学びの保障を行うことができた。
15	公立学校情報機器整備費補助金	教育総務課	補	R3補正(国)	<事業の概要> 学校内のネットワーク環境の安定化を図るもの。 ①GIGAスクール構想の実現に向けた学校環境の改善をするとともに、感染症対策のための三密の回避やコロナ禍における児童生徒の学習保障を行う。 ②ネットワーク機器交換等業務委託 ③市立小・中・特別支援学校55校	R4.7.1	R4.10.31	21,230,000	21,230,000	7,076,000	14,154,000	0	0	0	①ネットワークアクセスポイントから無線アクセスポイントに端末を使用するための必要な要件を満たしているかの調査を実施。 ②無線アクセスポイントの交換 上記調査の結果から交換の必要性が認められた94台に対して、上位機器への交換を実施。	学校内のネットワーク環境の安定化によるICT機器の活用促進により、平常時だけでなく学校の臨時休業等の緊急時や、やむを得ず登校できない児童生徒においてもICT機器の活用が図られ、コロナ禍においても子どもたちの学びの保障を行うことができた。
16	教育課程推進事業費	教育指導課	単	R3補正(地)	<事業の概要> 市立学校等修学旅行の延期等に伴う取消料を負担するもの。 ①新型コロナウイルス感染症感染拡大のために延期および濃厚接触者等のため発生した市立学校修学旅行の取消料を旅行会社に支払い、保護者の負担軽減を図るもの。 ②市立学校修学旅行取消料 ③市立学校保護者	R4.3.7	R4.3.31	8,901,690	8,901,690	0	8,901,690	0	0	0	修学旅行取消料について生じた8,901,690円を市が負担することで、保護者の費用負担軽減を図った。	全国的に感染が拡大している状況の中、安全に考慮して実施を見送ったことで、感染拡大防止に努めた。
17	学校保健特別対策事業費補助金	教育総務課	補	R2補正(国)	<事業の概要> 各学校が児童生徒の安心安全な学習環境を確保しつつ教育活動を着実に継続するため、感染症対策及び子どもたちの学習保障を行うもの。 ①新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による学校教育活動の継続等支援 ②学校における感染症対策、教職員研修等及び子どもたちの学習保障支援に対する消耗品の購入 ③市立小・中・特別支援学校55校	R3.11.11	R4.3.1	10,522,121	10,300,000	5,150,000	5,150,000	0	0	222,121	市立小・中・特別支援学校で保健衛生用品・学習保障支援に係る消耗品を購入	市立小・中・特別支援学校で感染症対策や学習保障に係る消耗品を整備し、感染拡大防止を行いながら、子どもたちの学びの保障を行うことができた。
18	学校保健特別対策事業費補助金	教育総務課	補	R3補正(国)	<事業の概要> 各学校が児童生徒の安心安全な学習環境を確保しつつ教育活動を着実に継続するため、感染症対策及び子どもたちの学習保障を行うもの。 ①学校における新型コロナウイルス感染症対策等 ②学校における感染症対策及び学習保障支援に対する消耗品の購入 ③市立小・中・特別支援学校55校	R4.3.2	R4.12.14	92,122,800	91,800,000	45,900,000	45,900,000	0	0	322,800	市立小・中・特別支援学校55校で ・保健衛生用品(アルコール消毒液、保健室用品等) ・3密対策の消耗品(サーキュレーター・CO2モニター等) ・学習保障支援に係る消耗品を購入	市立小・中・特別支援学校55校で感染症対策や学習保障に係る消耗品を整備し、感染拡大防止を行いながら、子どもたちの学びの保障を行うことができた。
19	学校管理運営費(小、中、特)	教育総務課	単	R3補正(地)	<事業の概要> 各学校が児童生徒の安心安全な学習環境を確保しつつ教育活動を着実に継続するため、感染症対策及び子どもたちの学習保障を行うもの。 ①学校における新型コロナウイルス感染症対策等 ②学校における感染症対策及び学習保障支援に対する消耗品の購入 ③市立小・中・特別支援学校55校	R4.1.14	R4.3.29	15,605,731	15,605,731	0	15,605,731	0	0	0	市立小・中・特別支援学校で保健衛生用品・学習保障支援に係る消耗品を購入	市立小・中・特別支援学校で感染症対策や学習保障に係る消耗品を整備し、感染拡大防止を行いながら、子どもたちの学びの保障を行うことができた。

No.	交付対象事業の名称 (※1)	所管課 (令和4年度)	予算措置 (国庫補助・地方単独)	予算区分	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業開始 年月日	事業完了 年月日 (※2)	総事業費 (A)	補助対象事業費 (B) = (C) + (D) + (E) + (F)				補助対象外経費 (A) - (B)	実績 (アウトプット)	事業効果 (アウトカム)	
									国庫補助額 (C)	交付金充当経費 (D)	起債額 (E)	その他 (F)				
20	特別支援教育運営費	教育総務課	単	R3補正(地)	<事業の概要> 各学校が児童生徒の安心安全な学習環境を確保しつつ教育活動を着実に継続するため、感染症対策及び子どもたちの学習保障を行うもの。 ①特別支援学級における新型コロナウイルス感染症対策等 ②特別支援学級における感染症対策及び学習保障支援に対する消耗品の購入 ③市立小・中学校38校(特別支援学級設置校)	R4.1.14	R4.3.24	553,413	553,413	0	553,413	0	0	0	市立小・中学校の特別支援学級設置校で保健衛生用品・学習保障支援に係る消耗品を購入	市立小・中学校の特別支援学級設置校で感染症対策や学習保障に係る消耗品を整備し、感染拡大防止を行いながら、子どもたちの学びの保障を行うことができた。
21	消耗器材文具費(小、中、特)	学務保健課	単	R3補正(地)	<事業の概要> 学校における集団感染リスクを避け、児童及び生徒が安心して学ぶことができる体制の整備を促進するため、感染症対策に係るアルコール消毒液の購入を行うもの。 ①新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、市立小・中・特別支援学校にアルコール消毒液を配布するもの。 ②アルコール消毒液の購入費 ③市立小・中・特別支援学校55校	R3.6.1	R4.4.8	1,980,677	1,980,677	0	1,980,677	0	0	0	アルコール消毒液の配布(440缶購入し、配布)	新型コロナウイルス感染症対策に係るアルコール消毒液の購入により、児童生徒が安心して学ぶことができる体制の整備を促進することができた。
22	学校給食運営管理費	教育総務課	単	R3補正(地)	<事業の概要> 各学校が児童生徒の安心安全な学習環境を確保しつつ教育活動を着実に継続するため、感染症対策を行うもの。 ①給食調理室における新型コロナウイルス感染症対策等 ②給食調理室における感染症対策に対する消耗品の購入 ③市立小・特別支援学校36校(単独調理校)	R4.1.14	R4.3.25	1,427,460	1,427,460	0	1,427,460	0	0	0	市立小・特別支援学校(単独調理校)で新型コロナウイルス感染症対策に係る消耗品を購入	市立小・特別支援学校で感染症対策や学習保障に係る消耗品を整備し、感染拡大防止を行うことができた。
23	市民病院事業会計繰出金	財政課	単	R3当初(地)	<事業の概要> 新型コロナウイルス感染症患者等に対応した市民病院職員に対する特例の感染症業務手当とそれに係る共済費の支給に対し、一般会計から支援するもの。 ①新型コロナウイルス感染症患者等に対応した職員に感染症業務手当等を支給することで、ダイヤモンドプリンセス号の感染症患者受け入れ以後の医療体制を整備する。 ②一般会計から市民病院事業会計への繰出金 ③藤沢市民病院	R3.9.1	R4.3.30	40,991,000	39,887,092	0	39,887,092	0	0	1,103,908	国の人事院規則を準拠した特例の感染症業務手当とそれに係る共済費を支給	新型コロナウイルス感染症患者等に対応した市民病院職員へ適正に手当等を支給できた。
24	職員の特殊勤務手当	職員課	単	R3当初(地)	<事業の概要> 新型コロナウイルス感染症患者等への対応業務について、特例の感染症業務手当を支給するもの。 ①新型コロナウイルス感染症患者等に対応した職員に対する特例の感染症業務手当 ②同上 ③保健所職員及び消防職員等	R3.4.1	R4.3.31	51,021,000	4,104,641	0	4,104,641	0	0	46,916,359	保健所勤務・消防職員の感染症業務手当の支給(対象勤務数延べ13,014回)	新型コロナウイルス感染症患者等に対応した職員へ適正に手当等を支給できた。
合計								1,037,156,233	988,590,975	87,845,000	887,702,975	0	13,043,000	48,565,258		

※1. 交付対象事業の名称については、国に提出した実施計画書上の名称を記載していますので、市の予算上の事業名と異なる場合があります。

※2. 事業完了年月日については、事業にかかる経費の支払日を記載している場合があります。